

# 摂南大学

摂南  
土木会

# 土木会会報

## No. 33

平成 24 年 12 月 3 日

発行所 摂南大学土木会  
〒572-8508 豊后川市池田中町17-8  
摂南大学理工学部都市環境工学教室内  
TEL.072-839-9117  
FAX.072-838-6599

## CONTENTS

- 会長挨拶  
「最近の土木技術者事情」  
会長 藤田 孝志 (摂大昭和55年卒)
- 学科長挨拶  
3年目を迎えた都市環境工学科  
熊谷 樹一郎
- 総会報告 平成23年度 通常総会開催される

- 研究室だより
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」  
(一級建築士受験資格) 認定条件
- 合同同窓会報告
- 2012年度の就職状況
- 在学生特集  
テーマ「最近自信がついたこと」
- 卒業生特集  
求められる技術と人材



# 最近の土木技術者事情

会長 藤田 孝志（撰大昭和55年卒）

京都府八幡市役所



土木会会員の皆様にはご健勝で、各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

撰南大学土木会会長に就任して早4年目となりました。去る平成23年11月5日（土）に大阪梅田の大阪弥生会館にて、関係各位のご支援とご協力により、平成23年度の特別講演・総会懇親会等を無事開催することができました。改めてこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、私は現在、京都府八幡市役所の方に勤めております。職場では団塊の世代が定年を向かえ毎年一挙に多くの方が退職されておられます。新たに若い職員を採用しており、毎年募集をしておりますが、その事情が変わってきているように感じます。技術職（土木・建築）への

応募が少ないのです。厳しい経済情勢に加え少子高齢化により学生が減り、さらに土木工学科については、名称の印象から人気が無いようで、大学では学科名を変更されて学生の確保について努力されておられます。現状のインフラについては、今まで整備してきた施設の長寿命化を進める事がこれからの重要な業務の一つとなつてきています。これからは土木技術者が必要となるのですが、土木技術者については、市の募集に対して応募人数が少ないのが実情で最近の土木技術者事情が変わつてきたように感じています。

今後、土木技術者の不足？と言うような事態となる危機感を感じています。土木技術者を目指す方が増えることを切に望むものです。

最後に会長就任以来、土木会活動の活性化を進めるために微力ではありますが努力して参りました。さらに土木会活動の活性化を図るには、若い方の力が必要であると考へております。出来れば今期を持って会長職を退き若以後継者に引継ぎたいと考へております。

今後どのような立場であっても土木会の活動の活性化を進めるため、また、土木会の円滑な運営推進のために協力をしてまいりたいと思っております。皆様方の土木会への協力をお願い申し上げます。

## 学科長挨拶

# 3年目を迎えた都市環境工学科

熊谷 樹一郎



土木会会員のみなさまにおかれましては、平素より当学科の運営にご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年4月より学科長を拝命いたしました。若輩者、かつ、微力ではありますが、都市環境工学科の活性化に少しでも寄与できるように、努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

都市環境工学科は、本年度でスタートより3年目を迎えました。昨年度末に梶川教授が客員教授の任を終えら

れ、退職されました。本年度は専任教員10名と共通準備室スタッフ3名で学科を運営しております。ここでは、学科の主な動きをご紹介します。

(1) JABEE継続審査…2007年度に

認定を受けた都市環境システム総合コースの認定継続審査が実施されています。理工学部では世界標準の教育を目指し、生命科学科を除くすべての学科でワシントン協定に対応するJABEEの教育認定を目標としています。今回は、本学科の継続審査と建築学科の新規審査が並行して実施されました。本学科については、JABEE責任者の伊藤教授を中心とする布陣で対応しており、現3年生にあたる理工学部都市環境工学科の都市環境総合コースも併せて審査対象となつております。

認定継続審査に向けて、土木会会員のみなさまには、授業内容に関するアンケート調査をはじめ、実地審査における卒業生の面談など、多大なるご協力をいただきました。組織としての土木会の役割は非常に充実したものと評価されて

## 総会報告

### 平成23年度 通常総会開催される

副会長 新井 栄作

平成23年度の特別講演会と土木会総会は、昨年の11月5日（土）、午後3時より大阪弥生会館において、多数の出席者の中で開催されました。

特別講演会は、東亜建設工業(株)土木事業本部設計部次長の本多将人氏による「東日本大震災の復興に向けて～港湾関係者の目線から～」と題するご講演で海洋土木大手建設会社の技術者目線から震災の被害状況、復興への取組などについて、ご講演をいただきました。

総会は、藤田会長の挨拶に始まり、副会長の新井栄作氏（撰大60年卒）の司会で、平肇武志氏（高専47年卒）と岩崎央氏（撰大61年卒）の両氏を議長団に選出し、平成22年度事業報告・決算報告及び平成23年度の事業計画・予算案について審議され、それぞれ原案通り承認されました。

総会に引き続いて、懇親パーティを撰南大学学長の今井光規先生のご臨席を賜り、副会長の西川朝彦氏（高専48年卒）の司会で盛大に開催されました。

ご来賓の各先生方、各卒業生会代表から土木会に対して、ご祝辞と激励のお言葉を頂戴いたしました。

会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中で、次回（25年）の再会を誓って閉会いたしました。

(東亜建設工業(株) 撰大 昭和60年卒)



懇親会



特別講演会

## 【撰南大学土木会】平成23年度 決算書・平成24年度 予算書

平成23年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成24年8月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。また、平成24年度予算は表2に示すとおりである。

表1 平成23年度決算

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越金	272,207	272,207
正会員入会金 70名	700,000	670,000
広告料	340,000	320,000
預金利息	1,500	381
名簿売上	3,000	0
雑収入	0	165,679
合計金額	1,316,707	1,428,267

支出の部		
科目	予算	決算
事務費等	40,000	41,190
総会費	360,000	246,351
名簿追加修正費	16,000	44,000
会報発行費	650,000	667,619
同窓会補助	60,000	20,000
役員会・評議員会費	15,000	79,540
特別講演会	100,000	140,000
慶弔費・見舞金	70,000	40,861
雑費	2,000	210
予備費	3,707	0
次年度繰越金	0	148,496
合計金額	1,316,707	1,428,267

平成24年3月31日現在 特別積立金440万円

表2 平成24年度予算 (案)

収入の部	
科目	予算
前年度繰越金	148,496
正会員入会金 70名	700,000
広告料	340,000
預金利息	500
名簿売上	3,000
合計金額	1,191,996

支出の部	
科目	予算
事務費等	40,000
名簿追加修正費	60,000
会報発行費	700,000
同窓会補助	60,000
役員会・評議員会費	110,000
特別講演会	150,000
慶弔費・見舞金	70,000
雑費	1,000
予備費	996
合計金額	1,191,996

平成24年4月1日現在 特別積立金440万円

# 研究室だより



澤井 健二

環境・水工学研究室 都市環境工学科 教授

C科における水工学の研究室としては海老瀬ゼミ(水圏環境計測評価)、澤井ゼミ(水辺環境創出)、瀬良ゼミ(環境水工学)、石田ゼミ(生態環境学)の4つがあり、昨年3月までは実験室も含めて2号館に拠点を置いていましたが、1号館の建替えと2号館の撤去に伴い、海老瀬ゼミ・澤井ゼミ・瀬良ゼミは1号館3階、石田ゼミは1号館8階に、また、水工学実験室は構造実験室と一体になって1号館1階(構造・水工実験室)へ、水質実験室と水質分析システム室は12号館1階へ移転しました。2号館の北側にあった屋外実験水路とピオトープは撤去され、巨大な駐輪場に姿を変えました。8号館西北と摂大交流会館南のピオトープはますます健在です。



10年前に水工学から水辺環境創出と改称した澤井ゼミは、学内にとどまらず、覆屋川市内、覆屋川流域、淀川水系、さらには近畿における、Eポートを用いた水辺体験や清掃・調査、環境学習・事務局支援など、市民流域連携活動の核となっています。私達の最大の行事は近畿水環境交流会で、1999年から毎年、7月末または8月初の土・日曜日に近畿各地の水辺を巡回しながら、シンポジウムとEポートレースを継続しています。2001年からは毎年、覆屋川再生ワークショップの運営にも参画し、また、1997年以来、淀川愛好会事務局として、春と秋のイベント企画、冬の淀川討論会を継続的に実施するほか、年に4回、YODORIC NEWSを発行しています。エコシビル部の顧問は2009年から石田先生になっています。

実験室やゼミ室内での活動としては、河道変動や流れの数値シミュレーション、河川の模型実験、水質改善、水害資料解析等を進めています。水工学研究室時代以来、欠かさず大学院生が在籍し、博士後期課程(創生工学専攻)には、澤井ゼミに小川君、海老瀬ゼミに川村君という社会人入学の学生が加わって、研究室に活力を吹き込んでくれています。



■技術士二次試験合格に向けた特別講演会  
本会会員のみならずが中心的に運営されている摂南大学技術士会の全面的な支援の下に開催された行事です。今年は平成20年摂大卒の東出唯さん(懐アスコ)に登壇いただいたとき、在校生に貴重なお話をいただきました。  
■学生向け講演会、現場見学会

■学生・大学院生の受賞  
6月に開催された平成24年度土木学会関西支部年次学術講演会において、本学科卒業生で摂南大学大学院生の陰山恵子さんと山下修平君が優秀発表賞を受賞されています。また、8月末から開催された「Japan Steel Bridge Competition 2012」には本学科の田中ゼミが出場、構造部門で第2位となり、みごと入賞しました。  
■産学公民地域連携フォーラム  
東日本大震災の残した深い傷跡は未だ癒えることはなく、直接的、間接的に復興に尽力されている会員の方々も少なくないのでは思われます。本学では、昨年度から理工学部地域連携委員会委員長の澤井教授と、防災分

野をこ専門とする片桐准教授が中心となり、これまで4回にわたって地震防災に関する「産学公民地域連携フォーラム」を開催してきました。  
なお、ホームページでは、行事の実施された様子などの写真や最新情報も多く掲載されています。是非、学科の新しいホームページ (<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>) をご覧ください。  
(3) 今後の展開...理工学部/工学研究科では、大学院の強化を進めています。大学院教育の実質化を目指した議論が進められているとともに、理工学部生が初めて進学することになる2014年度に向けた改組も実施されつつあります。本学科卒業生が進学してきた社会開発工学専攻については大きな変更はありませんが、専門分野の枠組みが計画系、環境系、構造系といった3分野に整理され、より受験しやすくなる措置が執られる予定です。  
さて、理工学部1期生の多くは3年生となり、就職を希望する学生は活動を開始する時期となりました。土木会会員のみならずには、様々な面で在校生がお世話になろうかと思えます。最後になりましたが、あらためましてみなさまのご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

いた模様です。あらためて御礼申しあげます。  
なお、正式な審査結果は来年度になってから公表となります。学科ホームページや次号の会報などでお知らせしたく思っております。  
(2) 学科からの情報発信...18歳人口の減少が2018年からさらに進行していくと予測される中、学科でも志願者確保の取り組みが実施されています。ただし、奇をてらったものではなく、学科としての活動を積極的に公表していくという取り組みとなります。そのつとして、昨年度から熊野前学部長、広報・学生募集WGリーダーの澤井教授らが進めてきた学科ホームページの改編が実施され、新しいスタイルとなつて公開されました。ホームページの運営は主に田中講師が担当されており、学科の活動、行事が次々と公開されています。これまでに公開されてきた主な情報は次のとおりです。

学生向けの講演会では、建設コンサルタント協会近畿支部にご協力を賜り、1年生については建設業界の紹介を、3年生にはこれからの進路を見据えた説明をしていただきました。現場見学会については、都市計画道路大和川線・常盤東開削トンネル工事やNEXCO 総研緑化技術センター、琵琶湖疎水記念館、人と防災未来センターなどへと出向しています。見学生で卒業生の方々が働かれているのを目にすれば、在学生にとつて良い刺激になると思われれます。引き続き、土木会会員のみならずのご協力をいただければと考えております。  
■学生・大学院生の受賞

野をこ専門とする片桐准教授が中心となり、これまで4回にわたって地震防災に関する「産学公民地域連携フォーラム」を開催してきました。  
なお、ホームページでは、行事の実施された様子などの写真や最新情報も多く掲載されています。是非、学科の新しいホームページ (<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>) をご覧ください。  
(3) 今後の展開...理工学部/工学研究科では、大学院の強化を進めています。大学院教育の実質化を目指した議論が進められているとともに、理工学部生が初めて進学することになる2014年度に向けた改組も実施されつつあります。本学科卒業生が進学してきた社会開発工学専攻については大きな変更はありませんが、専門分野の枠組みが計画系、環境系、構造系といった3分野に整理され、より受験しやすくなる措置が執られる予定です。

## 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件<sup>※1</sup>

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図I」を科目履修生として単位取得する <sup>※2</sup> 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する <sup>※3</sup> 。
2003	15		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図I」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する <sup>※2</sup> 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する <sup>※3</sup> 。
2004	16		
2005	17		平成21年度から開講の「建築設計製図I」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図I」を科目履修生として単位取得する <sup>※2</sup> 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する <sup>※3</sup> 。
2006	18		
2007	19		認定されない。 <sup>※4</sup>
2008	20		
2009	21		

※1: 一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。  
 ※2: 卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の記載日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては理工学部事務室に問い合わせください。  
 ※3: 卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。詳しい条件等については理工学部事務室又は(財)建築技術教育普及センターに問い合わせください。  
 ※4: 2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

### 計報

平成24年1月4日に水眠されました。

奥久司 様

(高専昭和50年3月卒業)  
近畿日本軌道工機勤務  
謹んでご哀悼をお祈りします。

# 技術士会の投稿記事

## 摂南大学技術士会のご紹介

会長 木下幸佐 (摂大昭和57年卒)



土木会員の皆様方におかれましては、各方面においてご活躍のことと拝察し、お喜び申し上げます。

本日はこの紙面をお借りしまして摂南大学技術士会のご紹介をさせていただきます。

摂南大学技術士会は、平成13年3月に故平城先生よりお声がけを戴き、先生のご指導のもと平成準備を進め、翌、平成14年2月の土木会総会にて承認を戴き、摂南大学学長にご報告の上、正式に発足いたしました。

発足から3年目の平成17年3月に会員数が19名となり、初めての総会および特別講演会を開催させていただきました。

記念すべき第1回の特別講演には現在土木会会長であられます藤田先輩にして戴いた事がまだ記憶

に新しいところで。

それ以来、総会・特別講演会も今年で8回を迎えることができ、発足以来10年が経過し、会員数も62名となっております。

摂南大学技術士会は、摂南大学の卒業生で技術士および技術士補試験合格者を正会員、母校在学中で技術士補試験合格者を準会員として、会員相互の親睦を図るとともに、会員の科学技術の向上をはかり、もって母校摂南大学の発展に寄与する目的で発足したもので、年1回の総会および特別講演会の開催と、在学生に対する技術士補受験セミナーの開催、年2回の親睦会の開催等を行っております。

また、平成20年には大学技術士会連絡協議会が発足し、摂南大学技術士会もメンバーとして大学相互の技術士の連携・啓発活動に参画しております。

最後に卒業生の皆様方の中で、技術士および技術士補をお持ちの方は是非、技術士会への入会をお願いいたします。会員相互の連携と親睦をはかり、微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

皆様方、今後ともより一層のご支援をお願い致します。

## 昭和48年卒業 土木工学科同窓会

中井 祥博 (高専昭和48年卒)

秋分の日 藤倉 徹 先生 井上 治 先生 辻井 義弘 先生を迎え、参加人数二十名で開催しました。遠くは越後湯沢から駆けつけて頂き旧交を温めあいました。

40年ぶりに再会した旧友も多く、開催時間が短く感じるひとときでした。また、不況の中選任を迎える現在、各々それぞれのお役職に就くもの生業を盛況に営む者、卒業から今までの人生の変遷を垣間見合い貴重な時間を楽しく有意義に過ごしました。

同窓会の運営に携わったなか、西川両氏に感謝致します。

最後にあります、が、亡くなりました恩師そして同輩に献杯致します。



高専土木 S48卒 於 インテシオ大阪 H24.9.22

## 澤井ゼミ(元・水工学研究室、現・水辺環境創出研究室)

発足20周年記念同窓会のご案内

拝啓 初冬の候、皆様には益々ご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、私たち澤井ゼミ(1993年度～2001年度は水工学研究室、2002年度以降は水辺環境創出研究室)では、このたびゼミ発足20周年を記念して、同窓会を開催する運びとなりました。

つきましては、人でも多くの同窓生のご出席をお願いいたし、ご案内申し上げます。

日時：平成25年3月16日(土) 17:00～20:00  
会場：摂南大学1号館1階(構造・水工実験室)  
※多くの先輩方が学ばれた2号館は平成23年度に取り壊され、研究室は新1号館3階、実験室は新1号館1階に移動しています。

会費：4,000円程度  
なお、準備の都合がありますので、同窓生は、平成25年3月1日(金)迄に幹事または澤井教授まで、出欠のお返事と近況のご連絡をお願いいたします。

幹事 小川芳也(平成14年学部卒、平成16年修士課程修了、現・博士後期課程在学)

09d301oy@edu.setsunan.ac.jp  
または、澤井健二教授 sawai@cv.setsunan.ac.jp

TEL / FAX : 07-2-833-9124

## 2012年度の就職状況

# 景気低迷の中での就職戦線

都市環境工学科 教授 海老瀬 潜二

2013年3月卒業・修了者の実際の就職活動の始まりは、これまでとは違い2012年12月であった。「採用選考に関する企業の倫理憲章(日本経済団体連合)」により例年と比べて2ヶ月遅れとなったため、かつては文系の職種で先行し、理系の職種は本格的には年明け頃から活発化していたが、文系も理系も併せて12月から始まったのが特徴である。

もう一つの特徴は、東日本大震災の復興建設工事の本格化に備えて、関東系の建設会社が早期から採用人数枠を広げて募集を始めたことである。さらに、関西が地盤の建設会社もこれまで絞ってきた採用枠を広げているようである。

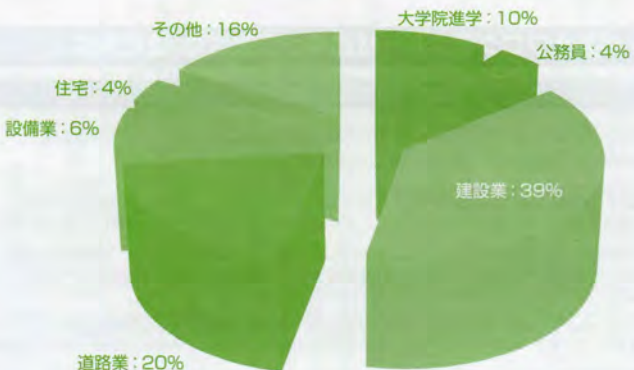
就職先を得て9月に卒業した3名を除くと、2013年3月の学部卒業予定者が65名、修士院修了予定者が7名である。修士院修了予定者は建設業が3名、コンサル系が3名、情報系が1名と、全員が既に内定しています。

学部卒業予定者65名の現在までの進路内定者は49名で、内定率は75%です。その進路区分を示したのが左図です。大学院進学予定者5名、公務員2名、建設業19名、道路業10名、設備業3名、住宅業2名、その他8名のような内定状況です。建設系(道路を含む)が多いのは毎年の状況です。

また公務員を目指してチャレンジ中の者が数名残っていますが、入学時には多くの新入生が将来の就職先に公務員と書いていたアンケート結果と比べて、また、公務員の内定者が多かった昨年度とも比べても大幅に減っています。この傾向が長く続かないことを願っています。

求人企業数は昨年度と比べるとかなり増加している

求職活動の状況



進路決定者の内訳

# テーマ「最近、自信がついたこと」

## 充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています!

### 「目標達成に向けて」

2年生 井上 陽介



私は、人工多能性幹細胞 (ips細胞) を開発し、今年のノーベル医学生理学賞に輝いた京都大学教授山中伸弥さんの発表にすごい感銘を受けました。不治の病や難病を治したいと考え、途中で挫折や再起を繰り返しながら、二十年以上上の歳月をかけてips細胞の研究開発に取り組んだのだと思います。

私も山中さんのように、世のため人のために役にたつことをしたいと常日頃から考えています。私は、「人々が安心・安全な暮らしができるまちづくりに関わる仕事に就く」という目標があります。その目標達成のためには、更なる勉強や資格を取得していくことが必要だと思います。私は、目標達成のために努力し続けることができるだろうかと少し不安に思っていました。山中さんのことを耳にしたとき、1つの目標に向かって努力し前向きに頑張っていこうという大きな自信をつけることができました。私は、これからも精一杯頑張って、自分の目標を達成したいと思います。

### 「エコシビル部での経験」

1年生 南部 佳奈



最近、自信がついたことは、「人間関係を築くこと」です。私は、クラブ活動としてエコシビル部に所属しております。エコシビル部で天若湖アートプロジェクトに参加させて

もらう機会がありました。天若湖アートプロジェクトとは、ダムが建設されて沈んだ村のあかりを一晚だけ湖面に再現し、かつての暮らしと現代とをつなぐ試みで行われております。私はそのプロジェクトで、他の大学の方々やプロジェクトを運営している方々と交流する機会がありました。また、公共団体の方々とも話す機会があって、自分の考えを一生懸命伝えようと思いました。そのような経験を積めたことは、自分にとって良い勉強になり人とのコミュニケーション能力が向上できたと思います。

これから、違うプロジェクトにも積極的に参加し、大学生活をより一層活発にして良い経験を積んで自分を成長させて、もっともっと自信をつけていきたいと思っています。

### 「コミュニケーション」

4年生 林 みちる



私は、今までに人前で話をすることが苦手で、自分に自信が持てませんでした。昨年の12月から始めた就職活動でも、特に面接での自己アピールが上手くできず、良い結果が

なかなかできませんでした。周囲の友人は次々と進路が決まっていき自分のことのようにうれしいのですが、私自身は焦りも出てしまい、ますます自信をなくしてしまいました。そんな中、日頃からお世話になっている先生から勇気をもらい、ある企業の採用試験を受けることになりました。今までのように上手くいかないのではないかと不安でしたが、先生のサポートや知人から面接のアドバイスをもらい、面接試験当日は自信をもって自己アピールすることができ、内定をいただくことができました。

私は、就職活動を終え、少しだけ自分に自信が持てるようになりました。多くの人と関わることで、人前で話すことへの抵抗がなくなりつつあります。これからもコミュニケーションを大切に、自分に自信をつけていきたいです。

### 「リーダーシップ」

3年生 高橋 峻之輔



最近、自信がついたことは「リーダーシップを身につける」ということです。今年、私は摂大祭のソフトボール大会に出場しました。昨年はエコシビル部のメンバーで出場しま

したが結果は思わしくありませんでした。今年こそは、優勝したいと思い、都市環境工学科のメンバーで「協本リバウンズ」というチームを結成しました。今年も、昨年の反省を踏まえてチーム練習を積みました。しかし、練習の際にキャプテンが骨折してしまい、副キャプテンであった私がキャプテンの役を引き受けることになり、チームをまとめようと必死に指揮を執りました。たとえば、骨折したキャプテンの分まで頑張ろう、さらなる人が出さないように注意をしようなどチーム全員に対して徹底し必死に鼓舞し続けました。その結果、優勝は惜しくも逃しましたがチームは団結でき、仲間とも深い絆が結ばれました、とても良い経験ができました。

この経験で私は、リーダーシップを身につけることができたと思います。今回、得られたものは私の将来に役立つと信じています。

## 編集後記

このページは私たち大学院生が企画し、作成したものです。ここでは、先生方、OBやOGだけでなく学生にも親しい会報誌になるように、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には303名の学生が在籍していますが、学科内で魅力的な学生を発掘し、在校生を代表してPRし、OB・OGの方々や他の学生に知っていただくという理由で「最近、自信がついたこと」というテーマを選びました。インタビューを通じて、現役学生の熱意や成長しようという意欲が伝わってきました。後輩たちには、直面している課題や待ち受ける多くの試練を乗り越えることによって、得られるものがあると思います。今後、それらを様々なことに活かしてもらいたいと思います。最後に、このページの作成においてご協力してくださった先生方や学部生の皆様へ、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



山下修平、大喜田好美

安野真琴、庄田直弘

『変わるもの』と『変わらないもの』

清水建設株式会社名古屋支店 土木部 統括工事長

米永 弘 (高専昭和48年卒)



私は、昭和48年に大阪高等専門学校を卒業し、清水建設株式会社に入社した。平成25年1月末をもって、40年間の会社勤めを終えようとしています。これからの人は、社会生活の内、勤め人として要求される事柄を、「変わるもの」と「変わらないもの」という視点から記述いたします。

創業から210年目の年に当たる当社は、文化元年(1804年)江戸は神田鍛冶町にて大工の棟梁として、第一歩を踏み出し、江戸幕府の命により江戸城西の丸造営を評価され、介の職人から幕府御用を務めることになったそうです。その後明治維新、激動の大正・昭和、戦後復興を経て、高度成長、経済変動と技術革新を経て現在に至っております。

私が入社した昭和48年は、高度成長が一段落し、その後、起きるオイルショックを前に、まだまだゆつくりした時間が流れていた様に記憶します。現在の日本は「変化の激しい時代」と言われてかなりの時間がたつておりますが、当社の210年の40年間しか経験しておりませんが、その歴史を振り返っても、その時々も激しい変化に晒されており、何も今の人がだけが特別な変化に直面しているとは思いません。

しかし、変化の特徴から見れば、商品・サービスを提供する側から、提供される側に主導権が移ってきたことが挙げられ、これは建設業だけでなく、あらゆる産業で言えることで、提供する側が多く消費する側が少ない為、少ない側に主導権があるのは、市場原理からみれば当然の結果と言えますし、又価格競争の激化という形で表面化・デフレからの脱却ができずにいます。このような時代環境にある今こそ、これらを真摯に受け止めよりきめ細かい対応が求められます。

時代の変化に対応するために、考えなければいけないことは、「変わるもの」と「変わらないもの」とを見極めが必要だと思います。

それらの見極め指標は「お客様に応える」ところであると思います。ここで言うお客様は、公人であれば市民に、営利会社勤めであればお得意先を指し、給料・経費・企業が成長していく源泉となる利益は、提供する商品・サービスの対価として得られるものであります。

お客様の要求、ニーズの変化に応える為に、提供する技術・サービス・提案方法・品質・コスト等を変えていくことが「変わるもの」の象徴だと思います。また、他方には、お客様への誠意・技術・サービス・品質等の責任、お客様から信頼され、満足され、企業風土が好かれることこそ「変わらないもの」であり続けなければならない。

企業の歴史はそこに生きる人の歴史でもあり、先輩から後輩へ引継ぎ、受け継ぎ伝承することによって、はじめて伝統・職能として歴史の重みを増していく、更に価値を高めていくことが何よりも大切だと思います。

したがって、これからの人には、新技術の習得・サービス向上・提案方法改善・要求品質確保原価の改善等に取り組む日々研鑽を続けて頂きたいと思っております。最後に、当社の相談役でもあった滝澤榮の言葉にこんな節があります。

『その事業が個人を利するだけでなく、多数の社会を利していくものでなければ決して正しい商売とは言えない』  
これは、いつの時代も決して変わらないことだと思います。

技術者に求める

(社)日本ダクタイル鉄管協会技術広報グループ 主幹

赤木 洋一 (撰大昭和56年卒)



「求められる技術と人材」というテーマで原稿の執筆依頼を受けたが、以下の内容がそのテーマに沿ったものなのかどうかは読者のご判断に任せるとして、私の思うところを綴らせていただく。

私は現在標記協会に向向中で、その業務はダクタイル鉄管によるパイプライン技術の広報を主担としている。具体的には事業体職員やコンサルタント、施工業者等に対して技術説明の講師を務めるとともに、協会に直接ある技術的な問い合わせ等の対応を行うなどにより広報の手段としている。これらを通じて諸先輩が築き上げてきた技術を広く伝承していく一端を担っていると考えるところである。

これら業務の中で考えさせられることは、「如何に解り易く、興味を持って理解していただくか」に尽きると感じている。これは購読する方の資質の問題もあるが、説明の質がなにより重要で、往々にして技術屋にありがちな独りよがりの説明になっていないかということである。このことは学術的にも社会全体的なことについて言えることだと考える。

話は少し大きくなるが、現政権が当初「コンクリートから人」という政策を打ち出した際に、「開発悪」という流れが形成され、ダム等の工事が見送られた事案があった。これは、ダム開発等の必要性や過去からのそれら土木築造物による恩恵を、いかに享受してきたかなどの説明がしつかりできていないために起こった大衆受けのみの政策ではなかったか。また、翻って純粋に土木技術ということと考えると、それは一人の知識で築かれたものではなく、過去より連続と受け継がれた知識や技術が積み重なり、人から人へと受け継がれることで世界に冠たる日本の土木技術が存在してきたのである。したがって、土木技術の知識や習得意欲、創意工夫等は技術者として当然のことであるが、過去、現在、将来に亘って求められる技術者とは、社会に求められるものの必要性を分かり易く、しかも共感を得うる説明が出来る者であり、また、次世代に技術を伝承するだけでなく、そこに一技術者としての付加の重ね合わせが出来る者であると思考する所である。

誰かのために (大きな誇り)

中央コンサルタント(株)大阪支店設計部 課長

近江 淳 (撰大平成7年卒)



「兄ちゃん！頼むからこの橋早く治してやってくれ!」  
これは私が平成23年台風12号で被災したある現場で、地元住民の方から実際に言われた言葉です。

この言葉を聞き、自分の仕事の本来の役割を再認識するとともに、誰かを助けることに繋がるとこの仕事に大きな誇りを感じました。これから皆さんが目指す建設関係の仕事は、多くの方を支援するために色々なアイデアを出して形あるものに仕上げていく。これが最大の魅力です。そのためこの仕事は、多くの誰かを助けることができる反面、その内容如何では多くの誰かに迷惑をかけることにもなり得ます。そのため、建設技術者には

- ① プロ意識を持って誠実に仕事と向き合うことが出来る人
- ② 日々の技術研鑽を怠らない人
- ③ 楽しく仕事ができる人

③ 楽しく仕事ができる人  
② 日々の技術研鑽を怠らない人  
① プロ意識を持って誠実に仕事と向き合うことが出来る人  
が求められます。プロ意識は常に真摯たる姿勢で最大の力を発揮すること。そのためには日々の技術力研鑽が不可欠であること。そして何より、自ら楽しく仕事をする中で、魅力あふれるものを提供できるというわけです。

これから建設技術者を指す後輩の皆さんには、技術者には何を求められるか、技術者になって何がしたいか、それらをよく考え、希望と志を持って欲しいと思います。そして仕事に就いたなら、大きな誇りを持って、そこに住む誰かの生活を支えるために頑張ってくださいと思います。

苦勞は避ける

鉄建建設(株)大阪支店土木部 課長代理

中土井 敬史 (撰大平成7年卒)



平成7年に大学卒業後、鉄建建設(株)に入社して17年が経ちました。最初の配属先は新潟県。大阪出身の私にとって慣れない新潟弁と土木用語が分からず苦勞したことが思い出されます。入社後は現場監督として、鉄道立体交差工事、山岳トンネル工事、PC上部工事、大規模土工事、鉄道高架橋耐震補強工事など様々な工事を経験しました。現在は総合評価落札方式の積算担当として、日々図面とパソコンに向かっています。月並みですが、地図に残る仕事ができることに土木技術者としてやりがいを感じています。

私が仕事をすることで常に心掛けているのは「率先垂範」と「自己研鑽」の気持ちです。入社して間もない頃に上司から「作業所は独立した会社。所長が社長、主任は部長でお前は課長。そして作業員は社員だ。」と言われました。それぐらいの気持ちでやればどんなことも真剣に考えたいの意味です。まだ経験の少なかつた私なりに解釈したその気持ちは、

- ① 何事も率先して取り組むこと
- ② 経験不足は知識で補うこと

建設工事は経験工學とよく言われます。とにかく自分が率先して動くことで現場を一番理解し、工事に携わる方から一番信頼されるようにならなければなりません。経験はどれも重要ですが、時間と場所という自分にとって限られた資源を必要とします。また経験スケジュールは自分で完全にコントロールできません。経験を補うのが、勉強、知識、資格、応用力です。若干の投資資金と継続力が必要ですが、結果として技術士などの資格を取得し、未経験分野に初めて直面した時も知識を応用してゼロスタートは避けられました。

「苦勞は避ける」と題しましたが、これは攻める作戦であり、決して回避や待ちの姿勢ではありません。効率化と応用力を最大限発揮できるようにするための準備態勢です。

皆さんも「苦勞は避ける」を実践してみてください。

公共施設総合サービス業



## 苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087  
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号  
TEL (06)6419-2981(代表)  
ホームページ: <http://karitakenetu.com>  
三田営業所 三田市天神1丁目2-12  
TEL (079)563-0095

KAIKEN-街づくりの総合コンサルタント  
大規模開発(住宅団地・工業団地) /  
土地区画整理事業 / 建築設計 /  
環境アセスメント

## 株式会社 開発計画研究所

業者登録  
・建設コンサルタント 登録番号・建(19)第4364号  
・一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A0994号  
・測量業 登録番号・第5-15601号  
・補償コンサルタント 登録番号・補18第2949号

代表取締役 井上 忍  
(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸  
TEL 03-5828-6855

## 株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント(測量・設計・調査)

得意分野 道路・一般構造物・上下水道  
都市計画及び地方計画  
測量全般・鉄道測量JR

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3の2  
TEL: 0774-22-7137 FAX: 0774-22-4966  
E-mail: [nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp](mailto:nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp)  
支店、営業所: 大阪支店・城陽営業所・南丹営業所

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo

地質調査、各種防災点検  
土壌地下水汚染調査、地盤保証  
各種構造物健全度調査 等

土に関することならなんでも!!

## 株式会社 コスモテック

代表取締役 田中 昌明 (48年卒)

本社 〒577-0833 大阪府東大阪市柏田東町11-15  
TEL: 06-6729-0290 FAX: 06-6729-1780

奈良営業所 〒635-0833 奈良県北葛城郡広陵町馬見南1-3-18  
TEL・FAX: 0745-55-4443

E-mail: [cosmotec@pop06.odn.ne.jp](mailto:cosmotec@pop06.odn.ne.jp)  
URL: <http://www2.odn.ne.jp/cosmotec>

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo



## ベステック株式会社

未来のために今できることを、  
ひとりひとりの技術と信頼のネットワークで社会に貢献します

■宅地造成設計、土地区画整理設計、道路設計、  
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪市中央区天満橋京町1-24 ストーク児島ビル  
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 木下 幸佐 (撰大57年卒)



明日の快適な環境づくりに貢献する  
総合建設コンサルタント

Active [活動的] Speedy [敏速] Customer [顧客本位] Onward [前進]



## 株式会社 アスコ

本社 〒550-0006 大阪市西区江之子島1丁目10番1号  
TEL 06-6444-1121 FAX 06-6444-1021  
奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1  
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031  
神戸支社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15  
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541  
和歌山支店 〒640-8044 和歌山市板屋町22  
TEL 073-433-7751 FAX 073-433-7702  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24  
TEL 052-219-6351 FAX 052-201-8071  
東京支店 〒142-0042 東京都品川区豊町5-11-12  
TEL 03-5749-3274 FAX 03-5749-3275

[営業所] 東大阪・奈良・香芝・五條・豊岡・姫路・京都北・京都南・岐阜・各務原・  
滋賀・京都・三重・名張・紀南・高松・徳島・久留米・静岡・神奈川・福井

# 広告募集!



撰南大学土木会では本会報へ掲載の広告を募集しています。  
協賛いただけます企業等がありましたら連絡をお願いします。

問い合わせ先

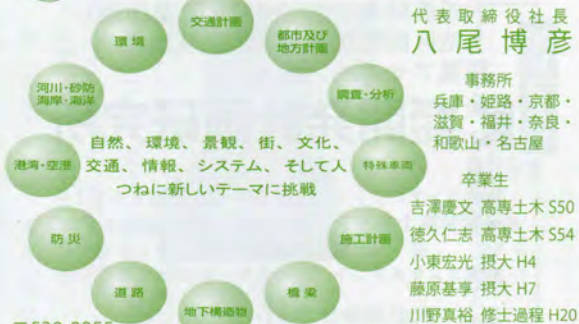
E-mail: [setsudokai\\_40@yahoo.co.jp](mailto:setsudokai_40@yahoo.co.jp)

URL: <http://www.geocities.jp/setsudokai/> 内メールフォームから



## 株式会社 修成建設コンサルタント

代表取締役社長  
八尾博彦



〒530-0055

大阪市北区野崎町7番8号 梅田パークビル 8F  
TEL 06-6367-3800 Mail scssomu@shusei.co.jp

H24.4.15  
創立 50 周年



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

## 大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市森山上福田829-1  
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)  
FAX 0867-66-3674  
URL: <http://www.ogflight.co.jp>

大阪市内より30分圏内の  
緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

## (株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号  
TEL 06-6930-5075

### 当社推奨霊園

総持寺霊園(茨木市)	服部徳風墓地(豊中市)
隆国寺墓地(吹田市)	竜の子霊園(奈良県)
海印寺墓地(長岡京市)	玉手山墓園(柏原市)
王寺霊園(奈良県)	飯座メモリアルパーク(四條畷市)
東本願寺天満別院(北区)	飯座霊園(四條畷市)
北摂霊園(豊能郡)	その他公営墓地
真龍寺霊園(茨木市)	

東日本大震災により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 国際航業グループだからできること 「復興への貢献」



空間情報コンサルティング技術を活かした  
ドータリソリューションにより、一日も早い  
復興に向けて全力を尽くします。

### 大阪支店

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-4-26 (出光ナガホリビル)  
TEL: 06-4963-5931 FAX: 06-4963-5930

### 関西事業所 / 西日本事業本部

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1-1-15  
TEL: 06-6487-1111 FAX: 06-6487-1300



## 国際航業株式会社

<http://www.kk-grp.jp/>

## 地球の未来は 人の未来。

鳥のさえずり、木々のざわめき、青い空と輝く海。  
ほら、地球はこんなにも美しい。  
これからも大切にしたいから、  
僕らができること、  
少しずつはじめてくちや。



Yes! Harmony  
東亜建設工業

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー <http://www.toa-const.co.jp/>

## HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社 花村コンサルタント

### 業者登録

- ・ 建設コンサルタント業 第8662号
- ・ 地質調査業 第1760号
- ・ 測量業 第14744号
- ・ 土壌汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8  
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068  
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三314  
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

## 広告募集!



摂南大学土木会では本会報へ掲載の広告を募集しています。  
協賛いただけます企業等がありましたら連絡をお願いします。

### 問い合わせ先

E-mail: [setsudokai\\_40@yahoo.co.jp](mailto:setsudokai_40@yahoo.co.jp)

URL: <http://www.geocities.jp/setsudokai/> 内メールフォームから

「土木会」と「会員(正・準)」との双方向の情報交換ならびに共有に、摂南大学土木会のホームページを活用しましょう

<http://www.geocities.jp/setsudokai/>

摂南大学土木会は都市環境工学科のJABEE受審を全面的に支援しています